

令和8年度 南城市議会報告会・意見交換会でのご意見及びアンケートに対するご報告

8月12日、15日、南城市役所 4 階 議場前ホールにおいて、令和8年度 南城市議会報告会・意見交換会を開催しました。参加された皆さま、誠にありがとうございました。

いただきましたご意見等を下記のとおり取りまとめましたのでご報告いたします。今後とも南城市議会へご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

8月12日 (水)

○意見

県外へ勉強に行ったことはわかったが、実際に勉強したことを何か南城市で取り入れて活かされているのか。県内ではどこが実施しているかわからないのか。

●回答

南城市も今年度から重層的支援事業を取り入れている。県内では那覇市も行っているが取組状況は市町村によって異なる。

○意見

3年ほど前に PTA がなくなり、こども育成会をつくろうということで有志何名かで話し合っているが、大人が無関心である。意識の高いこども達もいるのでこども議会を開き、意見をきいてはどうか。

●回答

貴重なご意見として議会で検討させていただきたい。

○意見

①若い世代はタブレットを使うが、本も重要である。図書館にタブレットや本をどのくらい集めるのか。

②うちなーの言葉がある本も置いてほしい。

●回答

①本の数は現在の分館より増える予定であるが、具体的な数字は把握していない。デジタルとアナログを両立させた教育を目指す。

②沖縄関係の本を強化していくことを行政の方へリクエストしているので、反映されると考えている。多世代の方に交流していただける場所を作っていく。

○意見

議会報告会で先進地の調査報告のみを行うのは、事業化の権限や予算を持つ執行部をチェックすべき議会の役割ではないのでは。議会での具体的な議論や附帯決議の有無など南城市議会の活動実績の報告を期待しているので、単なる事業説明や他所視察の報告にとどまらず、執行部への具体的な提言や議会内の議論の報告を求める。

●回答

今年度の報告会や意見交換会のあり方は現在も模索中の段階であり、いただいたご意見を受け止め、今後の運営において、その内容や方法をしっかりと精査していく。

○意見

2月に決定した商品券配送までに4ヶ月のブランクがあり、配送時期にもかなりばらつきがある。商品券引換券を導入するなど、郵便局の負担を軽減することを考えることはできなかったのか。

●回答

不公平感が出やすい事業であるため、商品券の配り方については検証を進める。市民の意見を幅広く反映し、今後の改善に生かしていく。

○意見

高齢者がインターネットで店舗情報を確認できない。また、500円券の利用場所が限定されて困っている。事業の目的は、市民の生活支援が第一であるべき。

●回答

高齢者など移動困難な方が身近な商店で買えるよう、500円券の利用拡大を審議していきたい。そのような意見も多く受けており、今後も議論していく。

○意見

南城市は自然が豊富である。海岸清掃や野鳥観察など、市民の環境活動が活発である。議会は年1回程度、各地区の視察や清掃活動を実施し、地域の環境活動が減少している中、こうした活動をしている方々を激励してほしい。体験学習などの人材育成が重要であると思う。

●回答

環境問題への取り組みは重要である。知念では海のごみ拾いウィーク、大里中学校では陸のごみ拾いウィークが実施されている。子ども会は楽しいイベントから始めることで参加を促進できる。環境問題についてもみんなで考えながら頑張っていきたい。

○意見

- ①畜産農家の支援状況を議会で監視してほしい。
- ②県経済連の食肉センターが国際水準に達していないため、沖縄産生肉を輸出できない。国際水準への整備を県や経済連に要請してほしい。
- ③空きビニールハウスが多くある。所有者と農業希望者のマッチングを進めてほしい。議会のプッシュが必要である。
- ④南城市には5つのグスク（糸数、玉城、知念、佐敷、大里）が史跡登録されている。本来は6つであるべき。大城グスクが抜けている理由を知りたい。発掘調査は糸数と知念だけで、残り3つは手つかずの状態である。グスクを観光資源として活用するため、議会の支援を求める。

●回答

- ①物価高騰予算の一部を活用して、畜産農家と水産業に支援を実施している。飼料用サトウキビの生産を推進している。
- ②食肉センターについては、県施設であるため、県や経済連と調整しながら要請行動を検討する。石垣市が台湾にお肉を輸出している事例も参考にしたい。
- ③農業委員会の推進委員が農業希望者と所有者をマッチングしている。土地価格の調整も行っている。
- ④大城グスクについては、大里村時代に構想があり、南城市合併後も引き継がれている基本構想活用計画がある。展望デッキや広場の整備構想もある。議会で議論を継続していく。

○意見

自宅と学校まで遠いが、下校時間に来るバスがない。部活動をするにも、帰宅後の送迎が必要になるが、共働き家庭は送迎できない。学校の下校時刻に合わせたバス運行を検討してほしい。

●回答

Nバスの利用要望は多く、議会でも一般質問が出ている。利用者の意見が十分に反映されていない部分があり、議会としても歯がゆい思いがある。子どもの登下校時間に合わせたバス運行、高齢者の買い物支援など、幅広いニーズに対応するよう、議員個人で一般質問や提言を行う。Nバスとお出かけなんじいタクシーの両方を進化させ、市民の足として利用しやすい公共交通を実現していく。

8月15日(土)

○意見

本市における災害対策について、市役所が唯一の避難場所となっているが、大雨・暴風時に高齢者が避難するのは困難である。お金や人員配置の問題もあると思うが、命を守る観点から旧4町村それぞれに避難場所を設定できないか。

●回答

ご指摘の通り市役所1ヶ所では、避難ルートを含めて課題がある。熱海市での視察で自主防災組織の重要性を確認し、市民が主体的に動く啓発活動も必要であり、4地区を拠点とする避難場所があった方が実践的な避難ルートにはなると思う。そういった意見も議会の中でしっかり提案し、審議していきたい。

○意見

88歳の南城市民が撮影した写真展を南城市で開催したいが、福祉協議会に申し込んでも公共施設の展示場所がない。豊見城市の福祉センターでは3ヶ月間展示してくれた。元気な高齢者の作品も気軽に展示できる場所がほしい。

●回答

市民開放スペースや壁を活用した展示が可能であると思うので各部署で展示できる場所を提供できないか、市民の文化的要素と福祉を合わせて展開していけるよう議会からも提案していきたい。文化協会には9ジャンル約550名が所属し、子どもたちの芸能・展示イベントも予定されている。作品の展示場所提供に向けて、今後調整を進めていきたい

○意見

南城市まつりの出店料が高く、出店をしたいが赤字になる。市役所での販売時は、500円だった。南城市まつりの出店は、テントや電気の配線を使うから高くなるときいたが、出店料をもっと安くしてほしい。

●回答

南城市まつりは公募制で一般やサークル活動での出店ハードルが高い課題があり、大企業メインになっていないか含め、実行委員会等と確認する。一方、市役所で開かれるマルシェなどは安価に参加でき個人活動等の出店に適しているため、来年以降のまつりも含めて情報周知に努めるとともに、ぜひこうした催しに積極的に参加してほしい。

○意見

参加者が少ないが報告会意見交換会の成果は出たと思うか。地域について理解をして、若者、子どもだけでなく年配の方々の暮らしにも目を向けてほしい。

●回答

報告会・意見交換会のあり方について、市民の声を反映しつつ、アンケート結果や今回の貴重なご意見を踏まえて、試行錯誤しながら次年度以降さらに良いものに見直していく。市制20年を経て、今後も市民目線を心掛け、福祉の面も含め困っている人の立場目線で議会としてもしっかり声を出していきたい。

○意見

百名・新原ビーチ周辺への宿泊施設建設計画に関して、地元自治会が全会一致で反対しているにもかかわらず市が認めたことが疑問である。このビーチは豊かな自然や文化遺産が残る貴重な場所であり、地元住民の憩いの場である。南城市の原風景と住民の生活環境を守るため異議を申し上げたい。

●回答

市は法律上問題がないため許可をしているが、地域住民の強い反対の意思は理解している。現地周辺は琉球七御嶽の一つであるヤハラツカサなどの貴重な聖地である。土地を購入済みで難しい面もあるが、今後の話し合いで何らかの対応ができたらと思う。

また、天然記念物現状変更許可や埋蔵文化財事前調査、風致地区条例の許可など複数の手続きが必要であり、法的に許可される地域ではあるものの、今後の調査や許可の有無によって判断され、今すぐ事業が始まるわけではない。

○意見

南城市に博物館を作ってほしい。市民も一緒に協力体制でやらないといけないと考えている。

●回答

南城市では歴史文化発信拠点の整備計画が進められており、資材高騰などの課題はあるものの順次整備していく方針である。琉球の歴史を伝える重要な拠点として、議会としても引き続き取り組んでいきたい。

○意見

研修の報告が長すぎる。工夫して意見交換に時間をかけてほしい。令和５年１１月臨時会の南城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について、重要だと考えるが報告会で報告はされたのか。または、今後報告をする予定はあるのか。

●回答

議会報告会の日程には入れていないため、報告はしていない。議員報酬の改定は、議会からの要求ではなく特別職報酬審議会の答申を経た執行部からの提案であり、議会内で賛否の議論を尽くし、採決を経て可決されたものであることをご理解いただきたい。

○意見

令和６年１１月の議会決議で「被害者救済への早急な取り組み」が示され、被害者救済に関する陳情書を提出したものの、審議未了となった。決議の約束が生きているのか、検証が行われないことへの疑問と不安を感じる。裁判中を理由に対応を先送りせず、被害者の救済と早期解決を強く求める。

●回答

陳情は議会運営委員会で慎重に審議され「審議未了」となったが、提出者の意見も聴取し、市長側とも意見交換を行なった。被害者の救済はデリケートな問題であるため表に出せない部分もあるが、誹謗中傷防止条例の制定に向けても動いており、議会としてもこの問題を重要視し、全員が一丸となって取り組んでいるところである。

○意見

前市長のセクハラ問題がうやむやに終わらされることを懸念している。一人ひとりの人権が守られるまちづくりを強く求める。声を上げられない被害者がいなくなるよう、議会側もこの問題を終わりにせず、市民を守るために引き続き力を尽くしてほしい。

●回答

貴重なご意見、要望として受け止める。

○意見

第三者委員会の報告と議会答弁の齟齬に関し、文書での説明を求めた決議への回答がどう取り扱われ市民に周知されたのか。問題の長期化は声を上げた人々を失望させてお

り、市議会には住民の代表として行政にしっかりと目を向け、正すべき点を変えていくよう強く求める。

●回答

第三者委員会の報告書と議会答弁の齟齬について、議会としては市から口頭での報告は受けているが、市の公式見解や正式な受け入れには至っていない。退職者もいる中で過去の議会答弁の確認や検証が難しく、現時点では市全体の正式な見解が出せていない状況である。市長は第三者委員会の報告がすべてだと議会で述べてはいるが、裁判中を理由にした答弁が続いている。議員それぞれの活動を通じて今後も市長への追及を続けていく方針である。

○意見

安全確保のため、自転車通学のヘルメットの着用を促す補助金制度を求める。補助金を支給し、ヘルメット着用による安全な登下校に結びつけてほしい。

●回答

高校生のヘルメット着用に関する市の補助金は現在予算化されていないが、安全管理の観点から子どもたちへの補助が必要か、委員会等の議論を通じて市へ予算化を働きかけていきたい。

～ アンケートに寄せられたご意見 ～ ※一部抜粋になります。

- ・まちづくり交流拠点については、読谷村の新しい施設、図書館が参考になると思う。
- ・視察後に関係部署と意見交換をしてほしい。市への提案、情報提供など。意見交換会で出た意見については、市へ共有して欲しい。参加人数が少ないと感じた。
- ・対話がキーワードと感じました。行政、議会、市民、それぞれがもっと対話を深めていくと良いと思いました。
- ・南城市は、他の市町村に比べ、街灯が少ない感じがします。もう少し増やして欲しいです。ニライカナイの橋も夜は暗いので、何かインパクトがあるように、ライトをつけて、観光の名勝にしてほしいです。今日はありがとうございました。
- ・体験学習は非常に大切と思う。机上で何回も教えるより、現場では見る、聞く、触れると5感で体験できる。定期的にシリケンイモリの観察会をやっていますが、数がかなり少なくなっています。
- ・こういう場を設けていただきありがとうございます。平日の夜でしたので、少し人数が少なく、若い方が少なく感じました。でも、市民の事を考えた場でたくさんの考えが聞けて勉強になりました。意見があるということは、市の成長が見えるということだと思いますので、頑張りましょう！
- ・最近、南城市に移住したので、議員達がどんなことをしているのか、南城市が進めている事、課題などはどのような事があるのか、知りたくて参加させて頂きました。政治の事は、今までよく分らなくて、関心も少なかったですが、資料も見やすく、とても分か

りやすく、興味をもって聞くことができました。特に、山口の農村漁業ステキ女子の説明が分かりやすく良かったです。また、糞尿処理が一番興味を持ちました。移住して一番びっくりしたのは、めちゃくちゃ臭かったことです。ドライブしてステキな道もあったのですが、臭くて窓を開けられなかったです。ただ、このような処理方法があり、取り入れられるかも知れないということは分かったのですが、じゃあ、実現プロセスはどうしたらいいのか、そこに自分たちは、何ができるのかが、良くわかりませんでした。

2つお願いがあって、議員さんの SNS でこの報告会のお知らせを探したのですが、何人か調べたのに、発信していなくて困りました。もう一つは、せっかく教えてもらった事を忘れたくないので、データでもいいので、参加者にだけでもいいので、見せていただいた資料が欲しかったです。

口調も一人の大人としてどうかと思う人も多くて、議員さんは、大変だと思いました。意見もありましたが、文句も多くて、建設的ではないと思いました。こんな感じだと若い世代は来ないだろうなと思いました。

- 行政の予算だけをあてにするのには、無理がある。自分達で工夫することも考えるべき。兼久海岸線のゴミ拾いも自分達でやった。議員だけを頼るのも違う。流れてきたゴミを有効利用して展示できる博物館を建設したい。素晴らしい南城市を作りましょう。
- 発言時間を守るようにした方がよい。
- 報告会の内容は口頭だけで済ますことなく、文書でレジメを用意して欲しい。議会報告が、視察報告会にすり替わっていないか。議会活動がよくみえない。
- 執行部提案だと議会報告しないという条例がありましたら教えて頂くと有難いです。報告会もう少し増やして欲しいです。研修会の報告は、まとめて分かりやすく短くお願いします。執行部提案であっても人数に関係なく、賛否両論がある場合は報告お願いします。いつもありがとうございます。
- 議員の皆さんが研修してきた「議会報告」についての質問は出しにくいと思います。「議会報告」の時間をもっと短く、市民の意見をしっかりひろい上げる時間を作り出してほしい。市民は、日々行政や議会に疑問を持ち続けていると思います。二部制にしてはどうですか。一部議会報告会（1時間）、二部意見交換会（1時間）。二部制にすると、報告を聞きたい人の参加、意見を言いたい人の参加が分かれてもいいと思います。
- 視察報告は時間短くの意見に納得。意見交換会、折角の機会ですので長めに。議員の視察については、費用対効果について、いつも？でしたが、（福岡県議会等々みて）成果はあったように思いました。全議員へ→人権が大事にされる南城市へ。
※ 傍聴の時の年齢は、具体的に何歳ではなく、何十代で宜しいのでは？
※ 帽子取りたくない方もいます。髪が薄くなり、おしゃれ感覚、ファッションの一部という方もいます。考えてもいいのでは？旧態依然ではなく、南城市議会から全国に先駆けて刷新を！！
- 社会福祉協議会の事務所と福祉センター全般が一緒になっている一戸建が欲しいですね。元気な年寄りも生き生きと趣味を生かして気軽に展示、見学しながらお茶でも飲みなが

ら、ゆんたくする場所があるといいですね。

そして、そこに行けば誰かに出会えると思うと足を運ぶ、運べるということは、一つの元気に頑張れる。心の居場所が必要です。社会福祉協議会が借り住まいになっている事もはじめて知って、気の毒だなあと思いました。

これから社会福祉が大変重要になっていくと思います。意見交換に時間がたっぷり欲しいですね。

- セクハラ事案の検証はやってください。

元運転手のことについて、議会も市も裁判中だから・・・と取り上げませんが、裁判に関わらないことを早急に取り組んで下さい。加害した側が責任をとらず、被害を受けた人が、職を追われ誹謗中傷に苦しんでいることに憤りを覚えます。生の市民の声を聞く機会をもっと作って下さい。あまりに少ない。議会側の説明が長い。

～ 今後の取組み ～

意見交換やアンケートを通して、多くの貴重なご意見をいただきました。皆様からいただいた声を真摯に受け止め、より良い南城市の未来をどう創っていくか議会活性化検討委員会でさらに議論し、議会一丸となって課題の解決とまちづくりに取り組んでまいります。